

くまひ

ESWL

体外衝撃波結石破砕術

EXTRACORPOREAL SHOCK WAVE LITHOTRIPSY



病院理念

関わった方々から、
「熊本に熊泌があって良かった」と、
満足・信頼して頂くために存在します

NR

熊本泌尿器科病院情報誌

[HTTPS://NOHIRIKAI.JP/](https://nohrikai.jp/)

当院における結石手術

体外衝撃波結石破砕術



extracorporeal shock wave lithotripsy

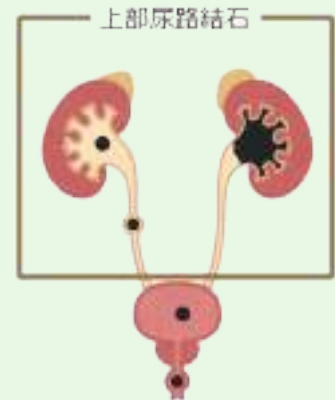
診療部長 あさやま ゆかる
浅山 縁

当院では、ESWL を、1988 年に熊本県で最初に導入いたしました。現在では毎年 1000 例以上の結石患者さんの治療を行ない、全国でも有数の治療数を誇っています。同時に 2 台稼働させることができますので、痛みで苦しまれておられる場合には受診当日の治療が可能となります（10mm以下の結石であれば、1 回で破砕できる確率は 86%、5mm以下ならほぼ 100%です）。腎結石の場合、腎被膜下血腫が起こる危険性があり、1 泊入院をお勧めしておりますが、血腫の発生は腎結石治療 43 例中 1 例の割合で、保存的に軽快しております。

外来で治療が出来るため、治療の第一選択になると考えます。

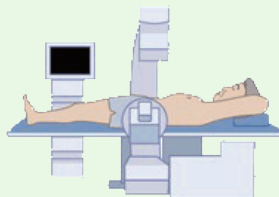
尿路内（腎臓・尿管・膀胱・尿道）に結石が存在する疾患が尿路結石です。腎臓・尿管の結石は上部尿路結石、膀胱・尿道の結石は下部尿路結石といえます。

上部尿路の結石の割合は尿路結石全体の約 95%を占めます。硬く凹凸のある石が尿路の狭い場所などに引っかかり通過障害などをおこすため、特に尿管結石では突然の強い痛みがでて、救急外来などを受診されることが多いのが特徴です。結石が小さければ（一般的には長径 3～4mm 以下であれば）自然に尿とともに排出（排石）されることも多いのですが、ある程度以上の大きさの結石や尿路に狭い部分がある場合は、自然な排石はあまり期待できないようです。上部尿路結石の治療には、排石を促すような薬を使用したりする保存的治療（経過観察）と、



ESWL（体外衝撃波結石破砕術） **TUL**（経尿道的尿管碎石術） **PNL**（経皮的腎結石破砕術）

上記の3つの治療法があり、当院ではどの治療も可能です。TUL と PNL の手術は全身麻酔下で行ない、それぞれ入院期間が数日間および 2 週間程度必要になります。今回は当院で最も症例数の多い ESWL について紹介いたします。



体外衝撃波結石破碎術 (ESWL)

ESWL 治療の適応は、レントゲンで確認可能な径が 10mm 程度までの比較的小さめの結石ですが、大きめの結石でも行なうこともあります。治療は前もって痛みを抑える座薬や注射をしたあと、患者さんにはベッド状の台の上に仰向けまたはうつぶせで休んでいただきます。台の中央付近から衝撃波が出るしくみになっており、位置合わせを行なったあとレントゲンで結石を確認しながら、結石に衝撃波を当てて少しずつ碎いていきます。衝撃波は患者さんの下から、垂直に入射されます。結石までの距離を最短にし、効率よく破碎していきます。

治療後に小さな破片となった石は尿とともに体外へ排出されます。1 回の治療時間は約 50 分程度です。



尿管結石の場合は外来や日帰り入院で可能ですが、腎結石については治療中や治療後に出血し、腎臓の周囲に血液が貯まる（血腫）を起こすことがまれに（1～2%）ありますので、安静および経過観察のため 1 泊入院していただいています。比較的小さめ結石では、1 回の治療で碎石・排石されることが多いのですが、大きめの結石では 1～2 週間程度の間隔を置いて複数回の治療が必要になることもあります。

安心・安全な手術を目指し、常勤の麻酔科医師による全身麻酔下で手術を行っています。

2017 年 4 月より、麻酔科医師が 2 名となり、更に盤石な体制を整えています。

ASA YAMA YUKARU



あさやま ゆかる
診療部長 医師 浅山 縁

1985 年 熊本大学医学部卒業
日本泌尿器科学会泌尿器科専門医・指導医
日本泌尿器科学会

泌尿器科外来 「安心してご来院していただくために」

外来師長 木下 かおり



はじめに

当外来患者の疾患別割合は、排尿 QOL 関連疾患が 41%、尿路結石が 18%、悪性腫瘍 7.3%、性感染症 3.5%、女性泌尿器科疾患 1.8%であり、高齢化を反映して排尿 QOL 関連疾患が増加傾向にあります。

地域分布は、上記疾患のほとんどが中央区・西区で 55 ～ 60%を占めていますが、尿路結石は市外・県外が 35.5%、女性泌尿器科は市外・県外が 41.7%と遠方からの紹介患者も多くみられます。

当院で力を入れている尿路結石、排尿障害、女性泌尿器科疾患、患者サポートについて



01 尿路結石治療 ESWL 枠を増設

尿路結石の中でも特に多くの方が激痛を主訴に来院される疾患が尿管結石です。

当院では結石の大きさや部位により適応となる患者さんに対し、非侵襲的治療である体外衝撃波破碎術（ESWL）をお勧めしています。ESWL は平日月曜から金曜、1 日 5 ～ 7 枠を設定し予約制で実施しています。より多くの患者さんに治療を受けていただけるよう 2023 年 11 月から土曜（第 1 を除く）午前 3 枠を増設しました。医療機関から事前にご連絡いただければ ESWL 仮予約し初診当日の治療にも対応しています。

02 排尿障害の評価にウロダイナミクスを実施

前立腺肥大症の手術適応判断に膀胱出口部閉塞による排尿障害か、膀胱機能障害による排尿障害かの鑑別、また女性尿失禁では括約筋不全か、尿道支持不全かの評価に役立てています。

検査は、排尿機能検査士の認定を受けた検査技師・看護師が中心となり適切に実施しています。

03 女性泌尿器科疾患の電話相談開設

女性泌尿器科疾患には代表的なものとして骨盤臓器脱、尿失禁、過活動膀胱などがありますが、病気の認知度が低いことや産婦人科と泌尿器科どちらに行けばいいのか判断しづらいこと、また羞恥心から誰にも相談できず受診に至らないケースが多いと感じています。

勇気を出して受診され、治療を受けられた患者さんからは「また旅行に行けるようになった」「悩みが解消されて人生を前向きに生きられるようになった」と嬉しい言葉も頂いています。このような女性泌尿器科疾患に悩む患者さんの QOL 向上を目指して、2023 年 12 月から看護師による無料電話相談窓口を開設しました。詳しくは HP をご覧ください。

○受付時間：毎週月曜 15 時～ 16 時（相談時間の目安：10 分程度）

○相談専用電話：080-8379-9581

04 癌告知後フォロー

癌告知の場面では看護師が同席し、患者さん・ご家族と共に医師の説明を聞きます。説明後は患者さんの病状の理解をサポートするため、個室で不明な点を伺い、パンフレットを用いて追加説明するなど癌告知後のフォローを行っています。

終わりに

外来医療における課題として「かかりつけ医機能」「外来機能の分化の推進」が示されておりますが、当院の機能を十分に発揮し、関わった方々から“熊本に熊本泌尿器科病院があって良かった”と満足・信頼して頂けるよう地域医療に貢献したいと考えています。

現在、医療連携については、外来受診のご相談は外来師長、転院のご相談は一般病棟師長が窓口となっています。患者さんにとって継ぎ目のない医療が提供できるよう地域の医療機関および介護事業関連の皆様とコミュニケーションを取りながら、円滑な連携を心掛けてまいります。お気軽にお問い合わせください。

新任医師のご紹介

心臓血管専門の岡本医師が就任されました

熊本大学第一外科に入局し、消化器外科、呼吸器外科、末梢血管外科などを経験し、その後心臓血管外科医として心臓大血管の手術を中心に仕事をしていました。

2005年からは熊本医療センターに勤務し、心臓大血管、末梢血管の救急医療にも関わってきました。その中で透析患者さん特有の治療の難しさも経験してきました。今後はその経験を活かして、当院での透析治療に貢献していきたいと思います。



医師 岡本 実
おかもと みのる

泌尿器科専門の脊川医師が就任されました

2023年10月より入職しました泌尿器科の脊川と申します。熊本大学泌尿器科に入局し、熊本県内の病院で泌尿器科医として勤務しておりました。7年間在籍した天草地域医療センターでは泌尿器科のみならず、透析治療・血液浄化の診療にもあたり、地域医療に携わってきました。今後は今までの経験を活かして泌尿器科全般・透析診療に貢献したいと思いますのでよろしくお願い致します。



医師 脊川 卓也
せがわ たくや



魅力的な我が町 「新町」

熊本泌尿器科病院が在る「新町」は熊本城の城下町です

熊本泌尿器科病院の前身である野尻病院は、1908年に野尻万治先生により開院しました。以来、100年以上、野尻会はここ新町で、地域に根差した診療を続けています。

新町は熊本城と熊本駅の中間に位置する地域で、その魅力はまさに歴史に裏打ちされています。このエリアの歴史は、戦国時代から続くもので、熊本城の存在と密接に結びついています。

新町は熊本城の城下町として栄え、今も多くの見どころが点在しています。まず時代を感じさせる古い町並みです。江戸時代からの歴史的な建物や商家が点在しており、散策するだけでも楽しいひとときを過ごすことができます。石畳の道や伝統的な町屋建築は、時の流れを感じさせてくれます。

また、新町には、歴史的な建造物だけでなく、美味しい食事やお土産も楽しめる場所がたくさんあります。地元の飲食店では、熊本の名産品である馬肉料理や熊本ラーメンを味わうことができます。

さらに、新町の魅力はアクセスの良さにもあります。バスや電車を利用して直接新町へアクセスできます。新町は公共の交通機関がとても便利です。おすすめは熊本の交通の拠点である「熊本桜町バスターミナル」から新町への散策です。観光客にとってもストレスの少ない楽しい体験となります。ぜひ魅力的な我が町「新町」へお越しください。



明八橋



吉田松花堂



長崎次郎書店

新職員 を迎えてのお見知り会



5月13日、院内お見知り会を実施しました。コロナで希薄になっている職員間の交流を考えて行なわれました。また、コロナ禍で3年間行なわれなかった新職員歓迎会としての側面もあり、多くの参加者でにぎわいました。

感染対策のため、全出席者に抗原定性検査を実施し、また、会話をするときはマスクをするという決まりを設け安全対策を徹底し実施されました。

会場ではBBQだけでなく、当院自慢の栄養科の方々に腕を振るってもらい、おいしい料理に舌鼓を打ちました。理事長からも、珍しい焼酎や洋酒などの差し入れなどがあり、職員の笑顔と笑い声が絶えない楽しい会となりました。

今後お互いにコミュニケーションをとり合い、当院一丸となって患者さんに対応してゆきます。



開会のあいさつは 院長先生から



美味しいお肉とお酒で和気あいあい

和 食 へのこだわり

「ホテル和食料理長の経験を活かして」

栄養科 志柿 徳康

調理師になり30年、和食調理一本で仕事をしてまいりました。「和食」というものに、ずっと誇りを持ち続けてきました。しかしその間、大変な事が何度もありました。熊本大地震では突然の解雇、コロナ禍では長期休業を余儀なくされました。今後、料理の仕事やサービス業がどうなっていくのか、大きな不安を覚えました。

私も現在50歳を迎えており、長年の目標であった「料理長」も経験できました。自分の中では一区切と考えるようになり、これまでの経験や知識で、次に、何に挑戦ができるか思案していました。

そのような折、当院の求人を見つけ、「これだ」と思いました。入院されている患者さんにとって、食事は大きな楽しみのひとつです。患者さんや当院におおきく貢献できると思い、すぐ応募しました。病院食調理の大変さなど、今までやってきた事とは違う事も分かったのチャレンジです。

「熊本泌尿器科病院の食事はとても美味しいし、綺麗！」

そんな言葉が届くよう、一生懸命頑張っています。

大型新人（太ってる）ですが、よろしくお願いします。



職員活性度 全国第 3 位

当院では、職員満足度向上委員会の取り組みとして、全職員を対象に「ESNavigator II」を使用した職員満足度アンケートを実施しています。「ESNavigator II」とは、株式会社日本経営が行なっているアンケート型分析システムです。職員の満足度だけでなく、意欲も含めた組織の活性状況を測定し、効果的な改善ポイントなどを明示します。

2022年度の結果は、参加した『職員活性度ランキング(グループIV)』(対象63施設)で第3位でした。対象施設数が倍以上に増えたにもかかわらず前回の順位と同じ第3位という評価をいただきました。



井秀隆院長

くるみん認定

当院では、若い世代の職員も安心して働ける職場環境を目指しています。当院の子育て支援、取り組みに対し、「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定(くるみん認定)が交付されました。

今後も課題に取り組み、さらに満足度の高い職場環境を目指し、改善活動を進めて行く予定です。



井秀隆院長と熊本労働局長

くるみん認定とは

仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組んでいる企業を認定する制度で、厚生労働省が実施しています。この認定を受けるには、「一定水準以上の育児休業取得」「育児に伴う時短勤務制度の設置」など、8つの要件からなる「くるみんマーク認定基準」を満たす必要があります。認定が開始された2007年以降、認定企業は全国615社、県内30社となり、県内の医療機関では当院を含め5法人が取得しています。(2023年12月末現在)

絵画「動物たちの宴」をご寄贈いただきました

当院の取り組みにご賛同いただき、熊本市出身の洋画家 藏本朝美氏(サロン・ドートンヌ名誉会員)より貴重な絵画をご寄贈いただきました。

当院理事長より藏本朝美氏へ感謝状をお贈りいたしました。

絵画は、東館2F 外来待合室に展示されています。ぜひ一度ご覧になってください。



野尻明弘理事長と洋画家 藏本朝美氏

藏本朝美

- 1933年 熊本市で小学校教諭の父のもとに生まれる。
- 1951年 熊本短期大学(現・熊本学園大学)入学と同時に第一次工ビ研に入所。
- 1955年 <世代会>の結成に参加し、多くの出品・受賞歴をもつ。
- 2007年 フランスのサロン・ドートンヌから、日本人初の名誉功労賞を贈られる。

医療法人野尻会 熊本泌尿器科病院

- 院長 井 秀隆
- 住所 熊本市中央区新町4丁目7番22号
- 連絡先 電話番号：096-354-6781 / FAX 番号：096-355-0231
- 診療科 泌尿器科・泌尿器科(人工透析)・腎臓内科・皮膚科・麻酔科

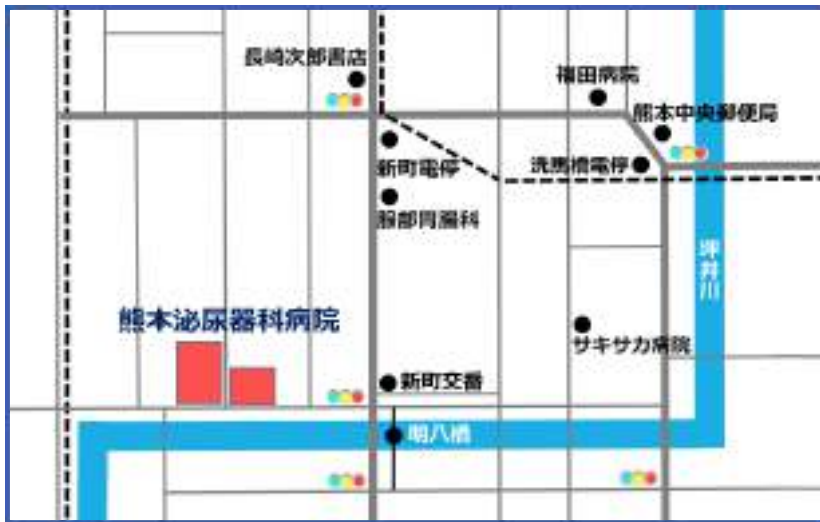
■診療案内

診療科	午前午後	月	火	水	木	金	土
泌尿器科	午前	鍋倉 康文	井 秀隆	野尻 明弘	脊川 卓也	井 秀隆	野尻 明弘 (第4週不在)
		松永 欣也	浅山 縁	狩野 武洋	狩野 武洋	浅山 縁	谷川 史城 (第3週不在)
		狩野 武洋	谷川 史城	浅山 縁	松永 欣也	谷川 史城	松永 欣也 (第2週不在)
	午後	本多 次朗	脊川 卓也	谷川 史城		野尻 明弘	
				井 秀隆		浅山 縁	
腎臓内科	午前					高森 浩	高森 浩 (第2・4週休診)
	午後			高森 浩			
皮膚科	午後	肥後 順子		野尻 桂子		野尻 桂子	

当院では、女性泌尿器科外来にも力を入れています(毎週水曜午後)

担当医は都合により変更することがあります。手術日はお待たせする場合がございますので、ご了承ください。

■周辺地図



東館正面玄関(外来入口)

「第一環状線-新町バス停」より熊本駅方面へ約250mのところの「新町交番」の交差点を右折。150m直進。徒歩6分。

A系統 「呉服町電停」から北へ10mの「ごふく薬局」の交差点を左折。直進350mで突き当たりの「パティナ小沢町」を右折。直進200mの旧正面玄関を右折。のぞみ薬局先。徒歩15分ところの「新町交番」の交差点を右折。150m直進。徒歩6分。

B系統 「新町電停」より熊本駅方面へ約200mのところの「新町交番」の交差点を右折。150m直進。徒歩5分。

くまひ

熊本泌尿器科病院広報誌「くまひ」
第3号 2024年3月1日発行

熊本泌尿器科病院 〒860-0004熊本県熊本市中央区新町4-7-22
TEL:096-354-6781 URL:https://nojirikai.jp

お問い合わせ

熊本泌尿器科病院 広報係

E-mail: kouhouteam@nojirikai.jp

